

北Qみらい NO.12

通巻第54号



[発行]

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

[連絡先]

TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
kitakyu-video@wel-tobata.jp

新年度のあいさつ

センター長 安藤 薫



北九州市立聴覚障害者情報センター
(黒崎コムシティ5F)

この度の熊本をはじめ九州各県での地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

身近な所で災害が起こると改めて、いざという時の備えがない事に気づき、心が動揺してしまいます。障害があり尚且つお一人暮らしの方にとっては、不安は想像を絶するものと思われれます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当情報センターでは、今年度職員の退職に伴い、異動がありました。新職員と共に、今年度もよろしくお願い致します。

また、昨年度「音声アプリを使ったコミュニケーションワークショップ」を開催し、情報センターでは4月からiPadを2台購入してUDトークを入れ、来館者とのコミュニケーションをよりスムーズに行いたいと思っています。どうぞお気軽にお使いください。

平成28年度 新体制(人事異動)のお知らせ



平成28年3月末をもちまして、定年退職となりました。19年間、皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

ともせ みきお
友瀬 幹夫



今年4月から主任になりましたので、今後ともよろしくお願い致します。

いちよし てつお
市吉 哲夫



4月から聴覚障害者情報センターに仲間入りしました。只今、手話、猛特訓中です。よろしくお願い致します。

いわなが みさこ
岩永 美佐子



4月から盲ろう事業を担当します。情報センターの事務所にいます。コムシティへ来た時はぜひお立ち寄りください。よろしくお願い致します。

つじ はるみ
辻 晴美



1年ぶりに戸畑の視聴覚から黒崎の情報センターに戻ってきました。バリバリ働きます。よろしく!!

にし えりな
西 えりな



東部の視聴覚障害者情報センターへ異動になりました。これからもよろしくお願い致します。

いちよし としお
市吉 利夫



報告1:音声認識アプリを使ったコミュニケーション

平成28年1月31日(日)

お正月気分も何とか抜けた平成28年1月31日(日)13時から北九州市立聴覚障害者情報センター主催で「音声認識アプリを使ったコミュニケーションワークショップ」が開催されました。

まず、第一部では、「難聴者が求める合理的配慮」をテーマに、北九州市難聴者・中途失聴者協会の神矢理事長の講演で、「障害者権利条約」「障害者差別解消法」の条文を元に、職場及び学校の場面における合理的配慮について、パワーポイントの資料を参照しながら詳細な内容で講演がありました。特に、実際に職場で配慮がないために障害者が困ること、また災害時に配慮が足りないために困ることなど具体的に説明され、今後、地域や行政が障害者に向けた配慮をどう取り組むべきかの提言がありました。第二部では音声認識アプリケーション(UDトーク)製作者の青木秀仁氏から、このアプリケーションを製作するに至った経緯や、UDトークを広く活用している企業や学校の取り組み等についての事例説明がありました。その説明をUDトークで文字変換したものをスクリーンに投影すると会場からは驚きの声が上がっていました。



また、グループワークでは会場のWi-Fiに参加者が所有している 아이폰やスマートフォンやタブレットをつなげて、グルーブトークの体験もしましたが、Wi-Fiに接続する方法や、スマートフォンのWi-Fi設定の画面を呼び出せない参加者も多く、本来のUDトークを体験してもらうためには、機器の取り扱いをマスターするなどの課題も浮上しました。しかし、参加者の中には、行政職員や特別支援学校教諭等の参加もあり、興味深く事例やUDトークの汎用例の説明に聞き入って、盛んに質問する場面もあり音声認識アプリの活用が今後の聴覚障害者のコミュニケーション支援に大きく関わっていく兆しが伺われました。



=UDトークはコミュニケーションの「UD=ユニバーサルデザイン」を支援するためのアプリです。

情報1：日本語字幕付き上映日の映画案内(4月・5月)

『名探偵コナン 純黒の悪夢』

公開中

▶字幕上映日

5月8日(日)・9日(月)・10日(火)

『映画クレヨンしんちゃん

爆睡!ユメミーワールド大突撃』

公開中

▶字幕上映日

5月8日(日)・9日(月)・10日(火)



◆お問い合わせ

T・ジョイリバーウォーク北九州

〒803-0812

北九州市小倉北区室町1-1-1

リバーウォーク北九州デコシティ4F

◆連絡先

TEL:093-573-1569

FAX:093-573-1653

◆MAIL

kitakyushu@t-joy.net

報告2：聴覚障害者情報センターの集い

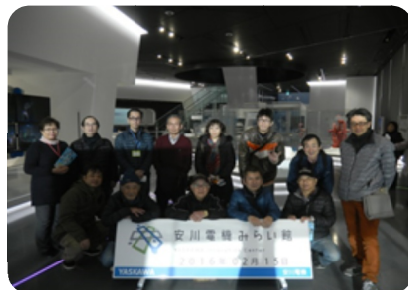
平成28年2月15日(月)



平成28年2月15日(月)「見る・聴く・学ぶ」の文化的体験の場として、昨年6月にオープンした安川電機みらい館(ロボット村工場)を訪問しました。当日は朝から風も強くかなり寒かったが、幸い午後からは好天に恵まれました。参加者はろう者7名、難聴者2名、スタッフ8名の計17名でした。

みらい館で見学概要の説明があり、案内担当者が手話通訳者を見ながら、

ゆっくり間を置いて説明していただいたので手話通訳者も要約筆記者もスムーズに情報伝達できたようでした。見学コースで、特に祇園太鼓ロボットやいろいろなゲームも楽しむこともでき、参加者から将来は手話通訳ロボットもできたらいいなあなど夢が広がりました。今度は家族みんなで一緒にまた行きたいなど今回は大変有意義な見学会となりました。



報告3：手と手でコミュニケーション パート4(ミニ手話教室&ミニ点字教室)



パート1

2014年6月～8月

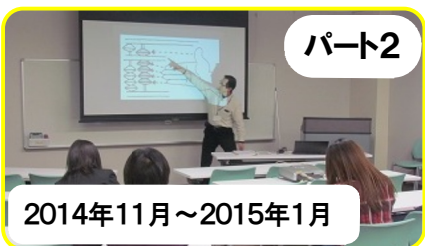


パート4

2016年1月～3月

コムシティに移転して丸3年が経ち、今回で4回目となるミニ手話教室&ミニ点字教室。今回は区長も参加してくれました。

手話の特徴、挨拶表現、家族人物、数字表現などの自己紹介までできる程度の基本を学習しました。5回中、3回以上受講した方、10名が修了



パート2

2014年11月～2015年1月

できました。

4月からの障害者差別解消法の施行に伴い、合理的配慮として手話を普及していく社会をめざし、聴覚障害者に対する理解の輪を一層広げていけたらと思います。



パート3

2015年6月～9月

【パート4】受講者より感想をいただきました。(抜粋)

- あいさつと自分の名前を手話で伝えることができるようになりました。どうもありがとうございました。
- 聴覚障害を理解でき、深まった気がしています。まずは「挨拶」を窓口対応の際、活用でき、市民対応がスムーズにいています。
- 手話ができなくても目をそらすことなく手ぶり身ぶりなどでも会話できることを知りました。日常生活や仕事でも積極的に話しかけるとまではいなくても笑顔で対応できるように心がけたいと思います。

報告4：派遣事業の件数 出〜夕

(専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者)

専任手話通訳者

	個人	団体	計
1月	236	6	242
2月	237	10	247
3月	226	10	236
総計	699	26	725

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
1月	19	0	19
2月	21	0	21
3月	17	0	17
総計	57	0	57

要約筆記者

	個人	団体	計
1月	19	0	19
2月	13	6	19
3月	17	0	17
総計	49	6	55



ビデオ制作のコーナー



紹介：新入荷DVD(48作品=DVD22枚)の貸出を始めました。



ろうを生きる難聴を生きるマンガのなかのろう・難聴 ～「聲の形」が問いかけたこと～【DA-0107】(4話収録=各15分)

漫画「聲の形」について紹介する第2回目。番組で用意したカキコミ板にも賛否両論の意見が寄せられた。「ろう者への理解が一步前進した」と評価する一方、「いじめられた当事者の気持ちがわかっていない」という否定的な意見も。第2回目の今回は、聞こえない当事者の意見を紹介します。大今良時



獄に咲く花【FD-0045】(98分)

1854年、激動の幕末期、吉田寅次郎(吉田松陰)は黒船でのアメリカ密航を計画するが失敗し、長州・萩の武家専用牢屋敷の野山獄に投獄される。彼は獄中で、武士階級でありながら身分の低い者たちと交流した罪で捕えられた高須久と出会う。二人は今まで誰も生きて出られたことのない悪名高い牢獄で、少しずつ交流を深めていくが…。吉田松陰の弟、聴覚障害者である敏三郎役として、ろう俳優の江副悟史さんが出演している。

江副悟史
(ろう俳優)

字幕制作：(社福)山口県聴覚障害者福祉協会

近藤はな/前田倫良/神山繁/本田博太郎/勝村政信/下元年世/池内万作/目黒祐樹/赤座美代子/江副悟史



妖怪ウォッチ超有名なアイツなんでそれ言っちゃうの!? フミちゃんの憂鬱【JB-0065】(4話収録=各24分)

あこがれのフミちゃんにトイレの大に入っているところを見られてしまったケータ。しかもフミちゃんはそれをみんなに言いふらしてしまう。いつもは、そんなことをしないフミちゃんが一体なぜ?なんと、フミちゃんには秘密を暴露させる妖怪「バクロ婆」が取りついていたので!



ちびまる子ちゃん「まる子のおはし」の巻「まる子、揺り椅子に憧れる」の巻【JB-0063】(4話収録=各25分)

「まる子のおはし」の巻 まる子のお家を訪れたよっちゃん夫婦。よっちゃんの奥さんは、めおとばしの片方をなくしてしまい落ち込んでいた。

「まる子、揺り椅子に憧れる」の巻 テレビで揺りいすに座る優雅なお嬢様を見たまる子は、揺りいすにあこがれる。お母さんに買ってほしいと頼むが…。

編集後記：被災者救済に万全期す

熊本県益城町で震度7の強い地震が起きたことに心が痛むが、過去の阪神・淡路大震災、東日本大震災を思い出した自身の中で「忘れない」という言葉の意味が変わった。単に過去のこととして記憶に留めておくだけではない。過去の“あの時”に抱いた思いや経験を忘れないことが未来を目指して進む道しるべになると自覚した。

災害の際には、自分自身を守る「自助」。地域で協力する「共助」。行政機関が主体の「公助」の三つが大切だ。個人がライフラインなどの生活手段を奪われた初期段階では「公助」とともに「共助」の力が何よりも必要になる。被災地への応援は「物」だけではなく、「心の絆」は距離を超える。被災者の無事安穏を真剣に祈り、熊本と九州の一日も早い復旧のために励ましのネットワークを力強く広げたい。

貸出状況の一挙

	貸出人数	貸出本数
1月	7	21
2月	20	56
3月	5	14
総計	32	91